



和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 197号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報 2019 年 6 月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

2019 年 6 月、7 月、8 月の主な予定表

予定	全体会	新倉ふれあいの森	富澤湧水・大坂ふれあいの森 (地域の会に協力して)	樹林公園
6 月	2 日川の全国一斉調査 21 日川崎市民アカデミー 白子湧水群観察会	15 日 定期保全と ボランティア体験	8 日(土) 富沢湧水保全体験 19 日大坂ふれあいの森体験	5 月 30 日(木) ヒロハアマナ 区の保全体験
7 月	30 日 新任教師研修会 富沢湧水、大坂ふれあいの森	初旬七夕用竹切出し 20 日 定期保全	14 日 富沢湧水保全と調査 18 日大坂ふれあいの森協力	
8 月	2 日 子ども大学 和光のなぞ“湧き水探検・自然と歴史”	17 日定期保全ボラ ンティア体験	10 日富沢湧水予定 21 日大坂ふれあいの森ボラ ンティア体験	ボランティア 体験予定

1. 2019 年度(令和元年度) 第 12 回総会 5 月 11 日白子コミセンで開催



五月晴れの第 2 土曜日、湧き水の会総会を開催し多くの会員が一堂に会することが出来ました(出席 32 名 委任状 16 名)。和光市長松本様、和光市教育長戸部様はじめ環境課、都市整備課から 5 名の方々がご臨席いただきました。堀文雄氏の議長選出により会が進行しました。事業報告では、高橋勝緒氏が画像を使って、会の活動の



主なものを紹介し、解り易く報告されました。特に埼玉県 NPO 活動支援事業として、和光の縄文遺跡と湧き水についての勉強会では前田氏の興味深い講演がありました。さらに白子 2 丁目の大規模開発に端を発した環境セミナー「考えよう和光のトラスト」での荻野豊氏(公財トトロのふるさと基金専務理事)の講演により、和光のトラスト制度という大きな課題が問われるセミナーとなりました。今年度引き続き検討していく課題です。

事業計画では、通常の保全活動が主ですが、湧水コースの学区探検、夏の保全ボランティア、子ども大学和光の湧水探検、お茶大巡検、川崎市民アカデミーの白子湧水群めぐり等々、白子湧水群のガイドの役割が増す一年となりそうです。出席者から今後の活動への期待もあり和かな総会でした。

総会後の研修会として、急激に変わりつつある大坂ふれあいの森を、松本市長のご参加を得てご案内しました。大坂ふれあいの森は昨年度境界がはっきりし、池や湿地も対象になりましたが、東側と南側の 2 か所の隣接地の開発はすさまじく、ふれあいの森としての環境が保たれるのかが問われます。多くの方に見学に参加して現状を見ていただき、残していく方法がないかと話し合いました。



2. 白子大坂ふれあいの森の会が総会を開きました 5月11日11時～

来年度大坂ふれあいの森の協働事業がスタートするので、「白子大坂ふれあいの森の会」として準備のため総会を開きました。大坂ふれあいの森が2008年に開設されてから当会は湧水調査や貴重種の保全、草の手入れなど長い間見守り続けてきました。和光の宝として残したいとの願いでした。白子大坂ふれあいの森の会と協力して継続して保全し、白子湧水群の重要な一部として活用をすすめていきます。

3. 新倉ふれあいの森で春の野草観察とタケノコ掘り体験 4月27日

毎年恒例の「自然観察とタケノコ掘り体験」の日が今年もやってきました。

今年度は、午前の部が総合児童センターとの共催、午後の部は下新倉児童館との共催で、2部制に挑戦しました。新倉のいつものメンバーに加え白子方面からも会員が加わりタケノコ掘りに協力しました。

竹林には年々少しずつ変化が表れ収穫量は、少なくなっているようです。ぬかと土を混ぜた肥料を袋に用意して各グループに渡し、タケノコを掘った後にまくようにして土に養分を補充し、環境に配慮しています。

当日のコースは、赤池児童公園に集合し、越戸川沿いを歩き、川から新倉ふれあいの森を観察、その後新倉ふれあいの森の道路沿いをまわって入り口で、野草を観察します。森にはどんぐりから芽を出したコナラの幼樹が見つかり、森の生物多様性が持続しているのを感じられます。急な階段を上り広場でタケノコ掘り体験を説明しました。子供たちから

竹の子掘りを体験し大人は見守りです。各家族ごとに会のメンバーがついて、土を掘りタケノコの根が見えるあたりまで掘って、最後にシャベルで掘り切ります。採れた



竹の子を抱えて大喜びで、その瞬間の笑顔が素敵でした。

4. つつじ祭り開催 「湧き水コーヒー店」と湧き水探検会 4月29日

恒例となった熊野神社境内での「つつじ祭り」に、湧き水の会が参加し、淹れたての湧き水コーヒーとパンの販売を行い、コーヒー店は大繁盛、湧き水探検会も当日申し込みがあり、白子特有の富澤湧水や大坂ふれあいの森を訪ね、熊野神社の白子富士にも登り、白子のわき水を知ってもらう活動を広めることが出来ました。毎年工夫をした「湧き水コーヒー店」となっています。年々この祭りも広がり盛況です。

